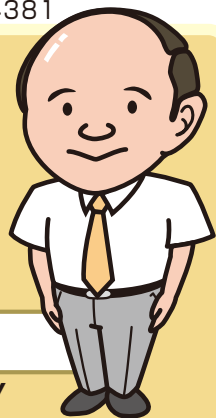




西野まさひと

活動報告 NO.29



ハッキリ言います! 市政にひとこと!

【ホームページもみてね!】<http://www.nishino1.com/>

■ 西野まさひと友の会では平成24年日野市9月議会の内容を中心に日野市の内外情勢を報告致します!

『がん』に対する意識の高さをあらためて認識いたしました。

この条例案作成から制定までには、計16回の幹事会をはじめとして、各会派内における意見調整、また会派と会派の考えの違い、日野市における健康施策におけるがん対策の考え方の違い、教育委員会における教育指導綱領での教育の障壁、また、各種団体における意見調整など多くの課題をクリアして出来上がった条例です。今回、私はこのがん対策議員連盟の代表幹事として勉強をさせて頂き感謝するところです。内容につきましては、西野正人ホームページにて

議員提出議案第14号

日野市がん対策推進基本条例の制定について

上記、議案を報告する。

平成24年9月18日

日野市議会議員

がん対策
推進基本条例
全議員で
制定

平成24年第3回定例会(日野市議会9月議会)が9月27日に閉会しました。今議会では、日野市議会議員23名が全員参加して作り上げた『日野市がん対策推進基本条例』が議員提出議案として提案、可決されました。このことは、日野市議会では初めてのことであり、議員一人ひとりの「がん」に対する意識の高さをあらためて認識いたしました。



- P2・3… 政権交代が急務!「幹線道路整備」「尖閣・竹島問題」
- P2・3… 日野市政改革へ提言!・日野市施策情報
- P4……平成23年度日野市の主な施策の成果!

自民党新総裁に安倍晋三氏!

ご確認して頂ければ幸いです。また今議会では、6月議会にて「暴力団排除条例」制定について一般質問を行った『日野市暴力団排除条例』も可決されました。

一般会計補正予算におきましては、当初予算に計上されませんでした「新かわせみ商品券」の発行(約1千万円)また小中学校の空調設備(エアコン)設置(約11億円)の補正予算も承認可決されました。この2件におきましては、私の所属する自民クラブ、民主連合、公明党の馬場市政を支える3会派が共同で馬場市長に要望書を提出し実現しました。

さて、自民党の総裁選が9月26日行われ、新総裁に安倍晋三首相が選出されました。しかし、全国の自民党の一般黨員票300のうち、過半数を超える165票を獲得したのは石破茂氏でした。(安倍氏は87票 一般黨員の支持を石破氏が集めた要因は何でしょうか?それは石破氏が安全保障のスペシャリストであり、今、日本がおかれている状況が「平時」では無いからでしょう。

尖閣諸島をめぐる日中の関係は、偶発的に発生したものでなく、中国の覇権主義を背景に、民主政権の外交・防衛政策のまずさにつけ込み日米安保の関係悪化の間隙をぬって日本を脅かしているに他なりません。詳細は本誌三頁に譲りますが、この危機を打開するために、政治に対して毅然とした態度と改革を国民が求めていると言っても過言ではないと思います。

民主政権下ではこの苦境を打開できると思えます。速やかに解散・総選挙を行い、国民に信を問うべきだと考えます。先月、当東京21選挙区(日野市・立川市・昭島市)でも支部長が小田原きよしさんに決定しました。現在、日本の国土を守り、国民の安心・安全を守るべく、政権復帰にむけ日野市内を駆け回っています。皆様も姿を見かけたら激励の声をかけ下さい。

日野市議会議員 西野正人

成長戦略に即した幹線整備を

日野市議会自民クラブと自民党八王子市議団とで構成する議員連盟で、一般国道20号八王子南バイパス・日野バイパス延伸を促進するために活動を続けております。今年三月には、八王子南バイパスが接続する圏央道高尾山インターが開通しそれに続く町田街道までの区間が利用可能となりました。すでに交通量の増加が確認されており、今後、圏央道の東名高速との接続に伴い、産業発展の計り知れない可能性が開かれています。

民主政権では手遅れに

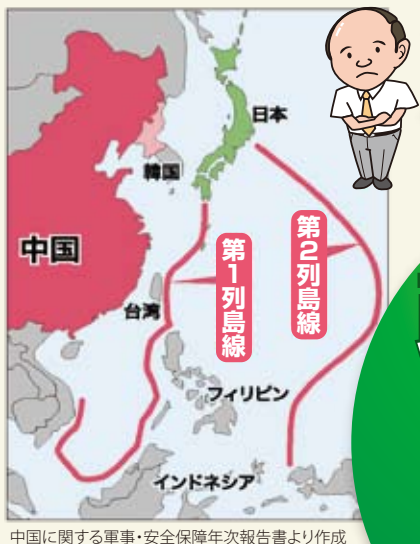
しかしながら、現民主党政権下では、「コンクリートから人へ」の言葉にもあるように、幹線道路整備が大きく促進されたとは言いがたい状況です。事実、日野バイパス延伸部分の西平山地区から16号バイパスまでの未事業化区間は民主党政権下の4年間で事業化されることはありませんでした。

圏央道の全面開通に伴い、多摩地域の評価が高まると同時に、それに備えて日野市も幹線整備を進めておかなければ、発展の流れに取り残される可能性があります。事実、優良中小企業の市外への転出が続いており、ついに東芝も撤退してしまいました。八王子市では圏央道の地の利を活かしての物流センター開設の計画がすでに進行中です。日野市も遅れをとってはなりません。



尖閣・竹島問題は民主党ではダメ!

政権交代が急務!



中国に関する軍事・安全保障年次報告書より作成

今日本は、領土問題といふこれまでにない危機をかかえています。この危機を招いたのは、民主党政権いわゆる鳩山元首相が行った日米同盟軽視・親中路線が原因にほかなりません。鳩山氏は当時、米国のぞいた「東アジア共同体」を主張し、小沢元代表に至っては143人の国会議員を引き連れて訪中し、「朝貢外交」を繰り広げました。この後、オバマ政権は日本不信からアジアでの安全保障のパートナーを韓国へとシフトして行きました。今、中国が日本の領海を奪い、沖縄までも奪おうとする暴挙を繰り広げ、韓国の李大統領が自らの支持率確保のためとはいえ、竹島訪問という愚行を行った背景には、日本の民主政権による稚拙な外交政策があると言わざるをえません。現在、野田政権では、私たちの選挙区から選出された外交・防衛に秀でた長島議員が活躍しておられますが、いまだに国家体制を「悪」と勘違いし、左翼活動家のような意識でおられる政治家が多数存在する民主党政権の現状では、「国を守る」という当たり前の議論さえも充分にできず、この「有事」に対処することはできないのです。

日野市議会では「香港民間団体による領海侵入及び尖閣諸島不法上陸に関する意見書」と「李明博韓国大統領の言動に抗議し、政府に対韓国外交の見直しを求める意見書」が賛成多数で可決され、政府に提出されることとなりました。日本にとって当面の軍事的脅威は中国です。共産国家である中国の中には、日本・フィリピン・インドネシア諸国の領海を自国のものとし、第一列島線や第二列島線などと称し、戦略的に領土・領海を広げようとする覇権主義が跋扈しているのです。そんな中で、日本と米国そして韓国は同盟国であり、安全保障の基軸です。

今、自由アジア諸国の絆をおろそかにしてはいけません。そのためには、一日も早く解散・総選挙を行い、国民の信を問うべきです。誰にこの国の安全を任せるべきかを!

条例の4原則

- 暴力団を恐れない
- 暴力団に資金を提供しない
- 暴力団を利用しない
- 暴力団と交際しない

この条例により進めていくこと

- 市が行うこと
 1. 暴力団を市の全ての事業から排除します。
 2. 暴力団に市の施設を使用させません。
 3. 青少年を暴力団から守り、健全育成に努めます。
 4. 市民の安全の確保を第一に考え、日野警察署に情報提供者の安全確保を要請します。
- 市民・事業者をお願いすること
 1. 暴力団排除活動に関係する情報を知ったときは、市又は警察等に情報提供しましょう。
 2. 暴力団排除活動に自主的にかつ相互に連携して取り組みましょう。
 3. 暴力団の威力等は利用しない、利益供与をしないようにしましょう。



日野市暴力団排除条例が施行

本年の6月議会での一般質問にて取り上げ、早期制定を提言した『日野市暴力団排除条例』が9月議会でも可決されました。日野市では、暴力団を排除し市民の皆様の安全や健全な社会経済活動を確保するために10月1日より施行しました。この条例は、市における暴力団排除活動の基本理念(4原則)と、市の責務や、市民、事業者の役割を定め、警察等と連携・協働して暴力団の排除に努めることとしています。市の責務、市民、事業者の役割を明確にして、一致団結して日野市内から暴力団を排除することによって、安全で平穏な市民生活と事業活動の健全な発展を目指してまいります。

街づくりに成長戦略を! 提言

市は副市長一人制に復し 戦略室を新設すべきだ!

右肩上がりの状況下では市の施策も市民要望に応える、いわゆる守りの施策で充分ですが、これからの激動の時代では複雑な変化に対応し、成長戦略をたてて街づくりを行うべきです。市はそのような施策を立案できる機能を持つべきです。必要ならば有識者のスタッフを加えても機能を充実させるべきです。

かつて助役は二人制でしたが、現在は一人制の副市長が通例です。この時代に市長・副市長が果たさなければならぬ役割は増加する一方です。アンテナを高くして、諸方面に市長の代身として戦略的に折衝する副市長をおくべきです。たしかに副市長の人員費がかかりますが、日野市の戦略の要としての役割を果たすならばその価値は充分にあると思います。



豊田駅北口に「多摩平の森イオンモール」が建設されます(平成26年2月竣工予定)。これまで日野になかった大型商業施設の誕生で、豊田北口周辺の混雑が予想されます。さらに日野バイパス(日3・3・2号線)が整備されるに伴い、旧東芝工場跡地や帝人などのバイパス北側エリアとのアクセスが重要になります。

主要工場地帯とバイパス延伸部をつなぐ重要道路

自民クラブでは平成24年度の予算政策要望としてこの件を要望し、市は、西平山地区区画整理事業地内に南北交通の幹線路を確保するため、新たに日3・4・24号線を整備することとしました(平成34年度完成予定)。成長戦略上、実に重要な施策であり、素早い市の対応を高く評価したいと思います。

旭が丘から西平山へ新たな南北道路





馬場市政

I 参画と協働のまち

●三世代交流促進事業

実践女子大学との共同事業として、三世代がよりそう暮らしに関する市民意識調査として、家族関係・同居・近居などに対する意識について調査を行いました。

●(仮称)50年ビジョンプロジェクト

学識経験者による「日野市50年ビジョンプロジェクト懇談会」と市内有識者による「日野市市政経営懇談会」を組織し、50年先を見据えたグランドデザインを話し合いました。

馬場市政

II 子どもが輝くまち

●たまだいら保育園園舎建設工事

たまだいら保育園移転に関する基本計画に基づき、平成22・23年度で園舎建設工事を行いました。



●リソースルームを小学校に設置

通常の学級に在籍する児童で、発達障害等により特定の学習に困難を示している児童に対し、リソースルームティーチャーを配置し、児童のつまずきにに応じた教育支援を実施しました。

馬場市政

III 健やかでともに支えあうまち

●特別養護老人ホーム待機者解消

500人以上いる特養老人ホーム待機者の解消のため施設開設支援で、新たな特養老人ホームが本年4月から入所開始となりました。



IV 日野人・日野文化を育てるまち

●『写真集まちかど写真館inひの第2集』

地域の歴史・文化を掘り起こし、未来へ伝えるため、市民ボランティアと協働で、聞き取り調査や写真の収集等につとめ『写真集まちかど写真館inひの第2集』を作成しました。

馬場市政

V 自然と調和した環境に優しいまち

●クリーンセンター周辺環境対策

地域住民要望によるクリーンセンター周辺環境対策整備として、日野高校正門からクリーンセンターまでの歩道整備を行いました。



●日野宿通り周辺再生・整備事業(用水)

日野用水上堰を開渠し、親水空間の創出を図り、橋梁の景観整備の補助・架け替えを行いました。日野用水下堰では護岸・防護柵の整備を行いました。



馬場市政

VI 安全で安心して暮らせるまち

●買い物弱者対策

買い物弱者への支援策を調査し、豊田商店会によるらくらくお買物支援モデル事業「豊田じぞう宅配便」を開始しました。



●消防団詰所の建替え

老朽化した消防団第2分団第2部の建物の建替えを行いました。建物は自治会や日野宿発見隊等と検討し、地域にふさわしいものにしました。



馬場市政

VII 地域の魅力を生かした活気あるまちづくり

●(仮称)ファーマーズセンター建設工事

平成22年度に策定した(仮称)ファーマーズセンターの基本設計に基づき、平成24年度の開設に向け建設工事を行いました。



10/13
オープン!

●工業振興基本構想の策定

10年後の日野市の工業振興を見据え、目指すべき将来像を明らかにするとともに、基本的な考えや市の将来像に合致した実現性の高い工業振興策を体系的、計画的に推進していくため、日野市工業振興基本構想を策定しました。